2021年度「台灣日語教育研究」國際學術研討會

-與新冠共存時代的日語教育-

輔仁大學日本語文學系 台灣日語教育學會

報名者個人簡歷

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 姓名 | 中 文：川口　慶子  日文讀音： かわぐち　けいこ | | |
| 論文題目 | 中文：  日文： | | |
| 任職機構/職稱 | 崇実大　助教授 | | |
| 發表方式 | ✓口頭發表  □壁報發表 | ⬜會員 | 是否已繳交2021年會費 □是 □否 |
| ✓非會員 | 韓国日語教育学会　総務理事 |
| 通訊方式 | 電話： | | 行動電話：+82-10-3136-2209 |
| 傳真： | | E - Mail：kkawaguchi@ssu.ac.kr |
| 地址： | | |
| 主要研究業績(2016年2月-2021年2月)   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 日付 | | 題目 | 学術誌 | | | 2017.3 | | 小学校低学年児童の継承日本語運用能力について－「話す力」と「読む力」の実態調査より－ | 日本語学研究　51 | | | 2018.9 | | 継承日本語における条件表現習得に関する考察 | 일본연구　77집 | | | 2018.11 | | 継承日本語における連体修飾節の習得様相  -韓日バイリンガル児童を対象に- | 일본어교육연구　45집 | | | 2019.6 | 継承日本語における連体修飾節の習得について-L1・L2との比較を通して- | | | 일본어학연구 60집 | | 2020.4 | | 継承日本語における「のに」の習得について | 일본어교육연구 51집 | | | 2020.12 | | 韓国における日本語OPIに関する研究の動向と展望 | 일본어학연구 66집 | | | | | |

日本語発表要旨

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 名　　前：川口　慶子  振り仮名：かわぐち　けいこ |
| 論文テーマ | 日韓国際結婚家庭の子どもの継承日本語習得とその要因 |
| キーワード  <5つ以内> | 1.日韓国際結婚家庭  2.継承日本語  3.習得  4.アンケート調査  5. |
| 內容  (600字以內) | 韓国国内の継承日本語教育(自助グループ及び個人)のネットワーク拡大、及びそれらの支援を拡大することを目的とし、国際交流基金ソウル文化センターの委託を受け2021年2月にオンラインによる大規模アンケート調査を行った。調査対象者は、韓国国内に生活の拠点を置き、両親のどちらかが日本語を母語として子育てをしている家庭である。その結果、368家庭から回答が得られた。  　本稿では、継承日本語教育の実態を中心に、次の点において考察する。家庭での言語使用状況、継承日本語教育のための親の働きかけ、日本語教育に関する情報入手方法、子どもの日本語の現在の能力と期待するレベル、両親の言語レベル、家族の継承日本語教育に対する関心度、等である。また、これら家庭での言語方針について居住地域による違いがあるかどうかも分析する。さらに、コロナ禍における継承日本語教育の実態についても考察する。コロナ禍のため対面による教室活動は難しくなり家庭学習をせざるを得ない状況になっている家庭が多いと考えられるが、日本語教育に関わる活動を家庭でも続けているかどうか、オンラインで活動を行っている場合はどのような活動を行っているか等を考察し、オンラインによる継承日本語教育の可能性を模索する。以上の分析をもとに、韓国における日韓国際結婚家庭の子どもたちの継承日本語習得の実態とその要因について分析し考察する。 |